

# 平成15年度ホタテガイ採苗情報（第8報）

平成15年5月30日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿岸地方振興局水産部

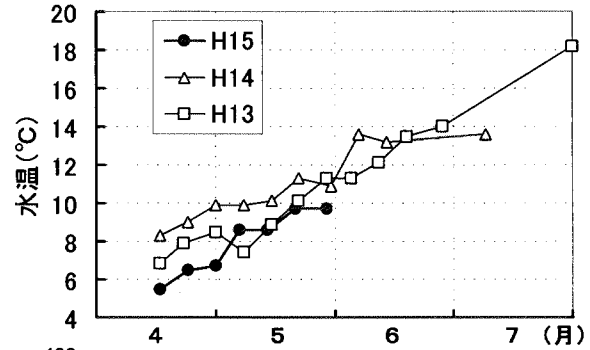
「今年の採苗数は、多い見込みです。」

## 1 ラーバの出現状況

5月29日に唐丹湾でラーバ調査を行いました。

ホタテガイラーバの出現数は、200 $\mu$ m未満が5個/トン、200 $\mu$ m以上が6個/トンと、前回調査時（合計111個/トン）より大幅に減少しています。

なお、調査時の水深10m層の水温は9.7 $^{\circ}$ Cと、前回調査時と同じ値でした。



## 2 試験採苗器による付着稚貝調査

5月26日以降の調査において、全調査地点で付着稚貝が確認されています。

付着数は、422～5,695個/袋でした。

大船渡地区の暮磯を除き、その他の地点では前回調査時より付着数が減少しています。しかし、その数は400個/袋以上と、依然としてまとまった付着が確認されています。

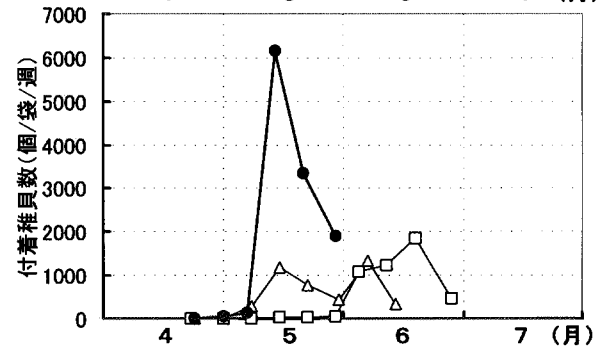
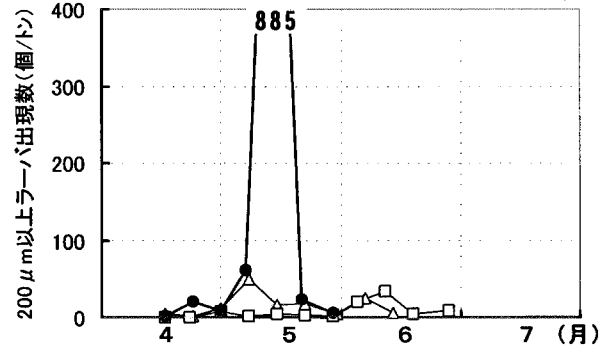


図 唐丹湾における水深10m層水温およびホタテガイラーバ・付着稚貝の出現状況



図 調査地点および付着稚貝調査結果

今年は、調査開始以来の最多付着数を記録した他、3週間以上にわたり付着が多い状態が続いていることから、採苗数は非常に多いものと予想されます。

なお、次報では、7月中旬に実施予定の付着稚貝調査の結果についてお知らせする予定です。